

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第7回研修を開催しました！」

第7回の研修は、令和4年6月24日(金)、25日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、「気象と稲作について」で、講師は、事務局の星野部長が務めました。

気象の講義では、農業を行う上で避けては通れない、豪雨災害、凍霜害、冷害などの気象災害について、学びました。

水稻の講義は、播種から刈取りまでの管理が中心で、減数分裂期、出穂・開花期、幼穂形成期の順に低温に弱いため、17℃の低温時には、深水管理が必要なことを学びました。

また、県では、県産米全体の評価を高めるために、銀河のしずくなどのブランド化に取り組んでいることが説明されました。

最後に、美味しいご飯には、①最初に入れた水は、直ぐに捨てる。②米は、洗うように混ぜ4～5回水を替える。③蒸らしたら、直

ぐに底から返す。が、必要とのことでした。

実習は、大玉トマトのわき芽かき、えだまめの播種・防鳥網の設置、ねぎの定植でしたが、24日は、ほ場状態が悪かったため、ねぎの定植は、事務局で撮影した動画を視聴しました。

25日は、時折小雨になりましたが、えだまめとねぎの実習をしたので、その様子を24日の受講生に、動画や写真を使って、事務局のSNSでも見られるようにする予定です。

実習終了後は、ほ場に移動して、中本研修指導員が、じゃがいもの追肥方法やピーマンのわき芽かき、さといもの間引きなどについて、説明と実演を行いました。その際、24日にはウスカワマイマイ、25日にはテントウムシダマシが発生しているのを確認しました。

第8回の研修は、7月8日(金)、9日(土)に同会場で、「病害虫・雑草総合管理①」、「にんじんの播種」などを行う予定です。



ねぎの定植を動画で確認する様子



大玉トマトのわき芽を確認する様子



えだまめの防鳥網を設置する様子



ねぎの苗に覆土をする様子